

「こんなヤツに、私の処女が……」

とある魔術師の失敗で

「だめえ、ピロウは声……聞かれちゃうー」

豚に犯され寝取られる!

# 豚に

## 墮とされた女達

「この豚、精液出しすぎよ……」

「も、もう射精しないで……お腹壊れる!!」

「こんな暑い日になんで私が買い物に行かないといけないのよ！」

片手には大きく膨らんだ買い物袋を持った遠坂凜は愚痴を言いながら  
仮住まいの衛宮邸に早足で向かっていた

「あっつ…ただいま…」

駄目です…シロウ…んっ凜がもう少しで帰ってきます

チュ♡

心配はないさセイバー  
遠坂なら後30分は帰ってこないはず

何を根拠に…んっ…



あ、あんだ達、私がいけない間になじやってるのよー！

と、遠坂…これは…

凛、違っつのです

違わないわよ…二人とも馬鹿！

しゅん

しゅん

ばっさー

イーレマ



気がつくと私は自宅の地下にいた

「グスっ…イタッ！何よ…これは魔導書？」

魔導書を拾い上げページをめくっていくとあるページで手が止まった

「惚れ薬ね…材料は1つを除いて全て揃ってるわね…」

残りの材料が射精直後に採取した豚の精液ね…

もう早く射精しなさいよ！  
これもセイバーがキスしてるのが悪いのよ！

半年間はお互い衛宮くんに手を出さないって  
抜け駆け協定を結んだのに…

しゅっ

しゅっ





まだなの早く射精しなさいよ！

やっと…な、なによこれ…精液が止まらない！

ゴクゴク

カッ  
カッ

「この豚、精液出しすぎよ！」

まあいいわ…これで惚れ薬が作れる  
…気持ち悪い豚だけど廃棄するのも勿体ないから  
後でベーコンにでもして食べようかしらね

「うん」

「うん」







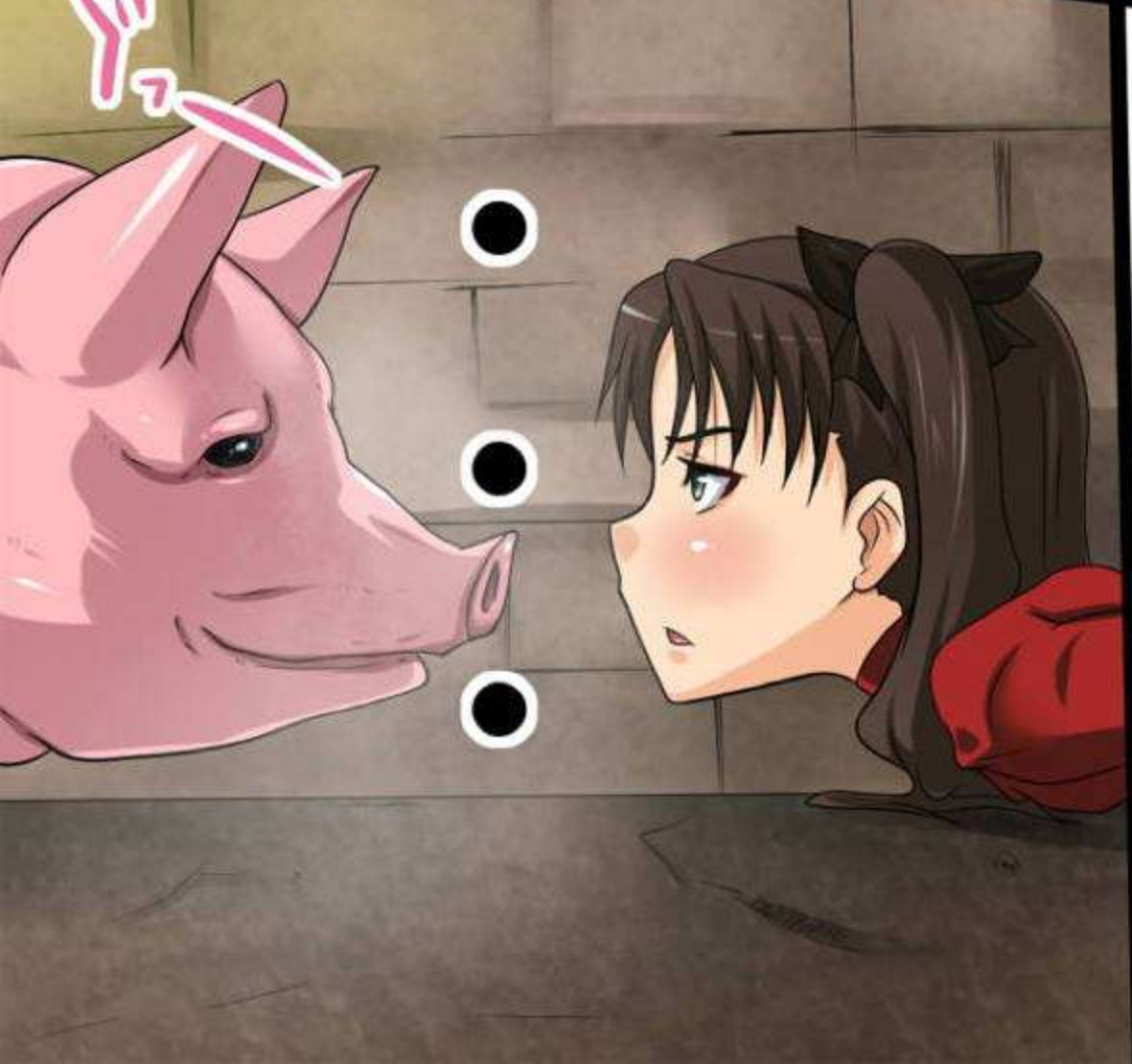
この薬を衛宮くんに  
飲ませて私の目を  
見つめさせれば……



苦勞の末……  
惚れ薬完成！



もう私の虜よ！  
セイバーには悪いけど……  
衛宮くんは……なっ？



い、痛い……



誰よこんな所に  
石を置いたのこくっ  
もしかして……  
飲んじやった？  
や、やばっ早く  
解毒薬を飲まないと



ヤツバ…私、豚の目を見ちやった…  
解除する予定なんて考えてなかったから  
解除薬なんて作ってないわよ

んひゃ！  
さつき食べるって言ったの取り消すから…ね  
…変な所舐めないでよ



ちよつと...やめ...あぐっ！

こんな奴に私の処女が...ふざけないでよ！  
（う...奪われちゃった...）  
こんな豚に私の初めて  
...衛宮くんにあげる筈だったのに...）

ぐ  
干

キ

ッ



おっおっ！あああああああ…射精してるっ！

イタッ抜きなさいよ！  
(痛くて何も考えられない…イタッ  
何…腔中で大きくなってる)

イッ



お腹…くるじい…精液がこんなに出てるの…

…んあ…ああ…んひゃ  
(また豚のチンポが大きくなって…  
私のアソコに…やだ…私壊れちゃう…)

あーあーあーキモチイイのお  
ジヨニーのドリルチンポ最高なの！

あへっーまた出すの…良いわよ！  
ジヨニーの好きなだけ射精してえ！  
おほおほおほおほおほおッ！

ドリルチンポ

だっ

てて

おほ

おほ

おほ



んおおおおおおおおおおおおん……

「これは……豚が凍を襲っている??」  
 凍、今すぐ助けます! 豚よ滅びなさい!



おほ♡

スル……

だろ……

あは……セイバーだ……何……  
 私の彼氏に攻撃しようとしているのよ  
 ……許せない……令呪をもって命ずる

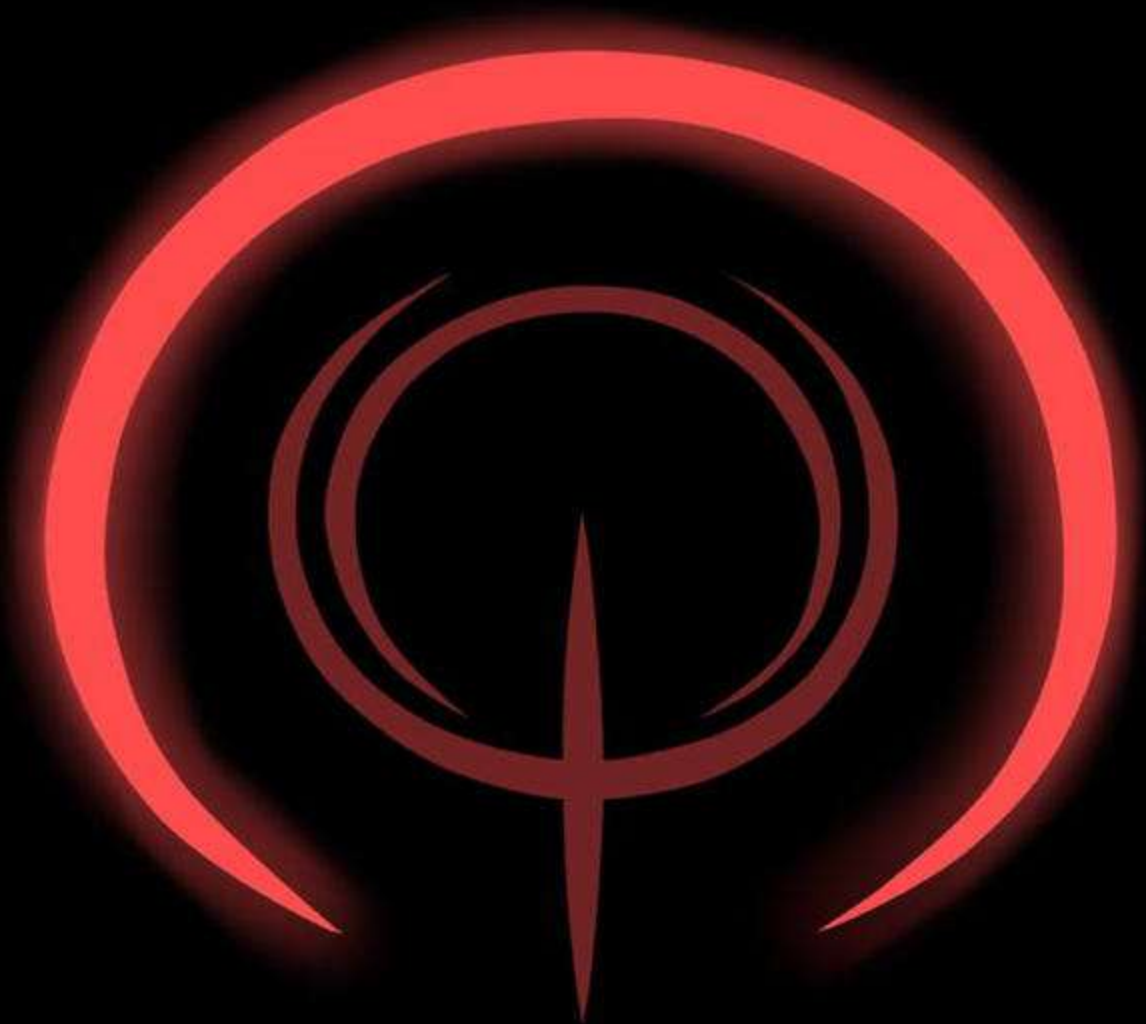
あは♡

ビク



令呪とは聖杯からマスターに与えられる  
自らかのサーヴァントに対する3つの絶対命令権

マスターである遠坂凜は私に2つの事を令呪で命じた



1、この豚のジョニーに危害をくわえることを禁止した

2、豚のジョニーにいかなる行為をされたとしても  
他言してはならない



駄目じゃないセイバー、私の彼氏を殺そうとしちゃ...

正気の沙汰とは思えません...  
豚を守るために令呪を使用するなんて!

彼氏を守るためならなんだってするわ  
...セイバーも衛宮くんを守るためなら何でもするでしょ?

人と動物は違います!

くぱよ

へえ〜まあいいわ...これからセイバーにはジョニーの相手をして貰うわ  
...彼が望むなら浮気だって許してあげちゃう...寛容でしょ?

ズチッ

おっ

ズチッ

はっ…きん…あっあがっ…

あら意外…衛宮くんともう済ませてると思ってたわ

ちがっ…あの時はシロウの調子が悪そうなので  
熱を計っていた…あぐっ…だけ  
…だから約束は破ってはいらないのです…

そうなの？でも私にはジヨニーがいるから別にいいわ、セイバーも楽しんで



ズン

ズン  
グツ

ジュルジュル…チンポと愛液が混ざって美味しい  
…ビクビクっっしてゐる、ジュー…ったら  
もう射精するの早いんだから…

…ぷんぷん…  
…あがっ…だめ…  
…ぷんぷん…

お  
お  
お

お

お



シロ…ずっずっずっ…美味しい  
…あらセイバーには刺激が強すぎたのかしら

…シ…ロウ…

あらら、一回だけで気絶して…  
ジョニーの性欲はまだ治まってないわ



シロ

ホッ

シロ

シ

はあ

あ

あ

シ

シ



お目覚めねセイバー……

ジヨニーのチンポ気絶するほど

気持ちよかったかしら……

衛宮くんの事は忘れてジヨニーの愛人になる？

凜、私の身体は汚されましたが

シロウに対する気持ちは揺るがない

へえ……なら数時間後に同じ事が言えるか楽しみね

……くっ……また私を辱める気なのですか！

先ほど…っア…っア…太くうッ!

ジロニーの優しさに気づいた?  
さっきまでセイバーの事を思って  
チンポをセーブしてたのよ  
…人間には出来ない芸当よね

戯れ言おうああ…  
がはっ裂け裂けるッ!  
っあああ…んああああ!

アキ

アキ  
アキ  
アキ  
アキ  
アキ  
アキ  
アキ  
アキ  
アキ  
アキ

ガイ

アキ  
アキ  
アキ  
アキ  
アキ  
アキ  
アキ  
アキ  
アキ  
アキ

アキ

アキ

アキ



ひ、ひがああああ！  
はがッおりやか壊れちやう！

んぐっぐいっひびん...  
また膣内にい射精されてりゅっ  
...あぐっああああア！

ッ

セ  
チュ  
ル  
ル

ッ  
ッ

ッ



—数時間後—

……もう……はいらない……

ほんの数時間前まで  
処女だったのに  
後半はイキツ放しじゃ  
なかったセイバー？  
騎士と言っても股を開ければ  
私達と変わらないわね



ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

ドロ

ガッ

ガッ

ガッ





はま

はま

ゼツ

ゼツ

ゴボ  
ゴボ

まだまだジヨニーのチンポは絶好調なのに  
肝心のセイバーは動かなくなってる……

仕方ないわね……  
この浮気チンポは私だけで満足させるしかないわね



ハッ  
ホッ

んあっ……んおおおおおほおっ

この子宮を潰されるぐらい突かれるのがあ  
すぎすぎいなのおほおっ！

ズキ  
ズキ  
ズキ  
ズキ

ズキ  
ズキ  
ズキ  
ズキ





ビクビクってきたのお射精すの射精すのね

子宮一杯に雄汁注いでえ私を妊娠させてえ…

おは

おは

これで満足……んおおおほお……  
射精するの止まらにやい……これ以上はムリい  
……雄汁で私孕まされてる……!

雄汁がドクドクって子宮にノックしてキモチイイ……



凜の膣内から精液が滝のように噴出すると  
凜は気絶して水溜まりの様に溜まった精液に顔を埋めた

「おほおほおほおほおおッ…雄汁があとまらにゃい…」



玄関から音が聞こえて俺は急いで音がした場所に向かった

「ただいまシロウ…」

疲れた顔をしたセイバーの隣で  
満面の笑顔をしている遠坂が豚と一緒に立っていた

「ぶ、豚？」

遠坂がグイっと俺との距離をつめると目の前で会釈した

「衛宮くん悪いけど一時的にこのジョニーを預かってほしいの  
…あっセイバーの了承は得てるから」

「…わかった住むところは蔵でかまわないよな」

遠坂が豚を連れて蔵に向かうのを目で追っていると  
近くにいたはずのセイバーはいなくなっていた

「凜は何を考えているのかわかりません」

「でも流石にロウがいる家で  
何かを起す気はないでしょう」

施錠したはずのドアがギィと音を立てて  
開くと信じられない物がトイレに入ってきた



「こんな場所に入ってきて来て  
シロウトバレたらどう思うんです  
…さるものでしょ真！」

あらバレちゃった…蔵で早速愛し合ったんだけど  
衛宮くんが来て邪魔されたの…  
ジヨニーはまだやる気満々なのよ  
…衛宮くんにはバレないように蔵に结界を作るから  
それまで夫をお願い出来るかしら？

ハイ  
ヤ

…拒否権はないのですね





夫ですか…汚い物を押し付けしないで  
グロくてドリルみたいに捻れてる…  
これが私の中に入っていたのですか

じゅわんじゅわんじゅわんじゅわん…じゅわんじゅわんじゅわん

んぽ

グロ

ぷんぷんは…ちゅるるるっ  
（ゴクゴクしてる射精するの？  
）のままだとねると服にっかがって  
シロワレバシってしまっ…飲まないっ

んん！  
んん！  
んん！

ジュルル！

ちゅるるる…ちゅるるる…ちゅるるる…ちゅるるる…

「ほっほっほ…精液で死にそうになるなんて…まだ吐てる凄い量」

早く零れた精液を綺麗に拭かないと…

は、

ゴボッ

は

は

ゴボッ  
ゴボッ

や、やめ…覆い被さって…  
…また大きくなって…

シロウにバレたら  
即、殺されますよ…  
だから止めましょう…  
後で凧が蔵で  
相手してくれるはずですよ

カニ

カニ

カニ

カニ



お利口ですね…  
早く降りて…  
ヤッ…あ…奥っ…  
挿入って…ひがあああ

痛ッ…はげしいあぐっ  
…ヤッ…は…ッあああッ!

トリ

おどろ

トリ

グッ>>>!

アッ



セイバー……どうした？  
叫び声が聞こえたけど

シ、シロウ……たず……け……  
（くっ！令呪のせい  
助けを呼べない）

声小さくて良く聞こえなかった  
……何かあったのか？

だ、大丈夫です……  
ね、ネズミがいて少しびっくりしただけです  
（扉の向こうにシロウがいるのに）  
……はッあ……そんな……はげしッ……く……



声が苦しそうだけど  
大丈夫なのか？後…

シロワ…もう少しで…  
出る出てるから居間で待って  
…出てるからあ！

…ん？セイバーわかった  
話は後で聞かせてもらおう

ガッ

クニクニ…



はッ…ああ…精液でてりゅ  
…あんッ…奥っ…まで…  
すッ…おいしい…ああああ…

セイバーお待たせ…  
蔵の結界が張れたから  
…うわっ凄いや…  
後始末が大変そうね

ズル…

ズル…

んほ♡

お♡

アッ



なぜ私がジヨニーを  
お風呂に入れないといけなのですか…  
豚が綺麗好きなのはわかりますが  
凧と一緒に入ればいいじゃないですか

ジヨニー…お腹に当たってるんですが…  
(トイレで見たときよりも大きくなってる)

チャッ

ドクッ

ポッ

ポッ

ハハ

ハハ



…ジヨニー離して…  
これ以上はシロウにバレてしまっ

ああっ…ジヨニー…お願いします…抜いて…  
(豚に犯されてるのに…)  
シロウに見つかってしまっつと想像すると…  
胸がキュンとしてしまっつ

ズン

ホッ



だめえシロウに声…聞かれちゃう！

んほお！声が抑えられない  
豚あ豚ちんほお…いつくっ…んぷう！  
おっおっ…ひっ！

ジュ  
カ  
ン

ヒッ！

ヒッヒッ♡

ア  
ハ  
ハ



「あひいちんぽお……ぶたちんぽしゅきい……」

ジヨニーは放心状態の  
セイバーを息が整うまで  
微動だにしないので  
セイバーを支えた

あひい

あひい

あひい  
あひい

あひい

あひい

あひい

あひい

あひい

あひい

あひい



シーンと静まった深夜の衛宮邸のあるひと部屋だけ獣声が響いていた

んほおおおお…シロウが寝てる横でえ  
ちんぽハメハメしてるのお

いつ起きてもおかしくないの…  
はあはあ…ああんっあああっやめられない

ガッ

ガッ  
ハッ

ガッ

ガッ

ガッ



「こんなに情熱的にちんぽでアタックされたら  
…堕ちる堕ちちやう…  
な、膣内出しいきもじいいっ！」

シロウの事お好きなの…  
身体は豚に汚されましたが  
心までは汚されないと誓ったの…

ビュッ

ビュッ

ぐわ



ああ…射精とまらりやい  
…んほあん！おほお！

ジヨニーの赤ちゃんできちやった…  
シロウ「めんなしやい…」  
セイバーはエッチになつてっしん…

おほお、おほお

おほお

グ  
グ  
グ

グ  
グ  
グ

ポ  
ポ  
ポ

パ  
パ  
パ

ロ  
ロ  
ロ





「あはっ……シロウの顔に  
せえいえきがかかってるのお……あへっんほオー！」

廊下をドンドンと鳴らしてセイバー達のいる  
扉の前で止まるとガラツと音を立て扉を開けた

「ちよっと五月蠅いわよー！  
私の夫を連れてなにやってるのよー！  
……あちゃー派手に衛宮くんの部屋で盛って  
もう……後始末するから早く行きなさい」

凜が何かの言葉を唱えると部屋は綺麗な状態に戻っていった



ジヨニーを預かってからもう半年になるのか…  
最初は豚が我が家にいるのには違和感あったけど  
今では家族の一員だ

ジヨニーの世話はずいずい進んでやってくれているから  
俺としては楽だけど…  
最近セイバーが俺に冷たくなった気が…

トビ  
トビ

おっと料理の途中だったな…  
久しぶりに遠坂が帰ってくるから豪華な料理にしないとな  
…それにしても迎えに行ったらセイバー遅いな

ガキヤ

本当にシロウトは見えてないのですねー！

特定の人物に認識させないようにするの  
魔術師なら当然出来る芸当よー！  
最近私はいない」といってたけど  
これを使ってあっちこっちで  
ジヨニーと愛し合っていたのよ

凛わかりましたから早く始めましょー



ああっアナル最高です  
もっと突いてジヨニー！

ひあツおひいいいわよジヨニージユニアあ…  
ちんぽの大きさが夫に近づいて来てるっ  
…大きさを思い出したわ  
…ねえセイバー

おほおなんですかあアナルいい尻穴イイツー！

この前脱衣場で衛宮くんのちんぽみただけど  
…プププっ生まれて少ししか立ってない  
ジヨニージユニアより小さいのよ

ヒツヒツ

カク

カク

グホッ

カク

しゃぶしゃぶ

カク

カク

グググ

おおっおほお…  
シロウがそんなに小さいとはおもひませんでした  
…ひッこの前デートに誘われましたが  
断って正解でした…キタキタっああああっ!!

じゅるる…

ア  
ッ  
ッ

衛宮くんなんて部屋を提供してくれる  
男だと思えばいいのよジュニアイクのね  
私もイグからあ…

ア  
ッ  
ッ

ビュルル

ビッ

ビッ

ゴッ



あ……お……か……い……う……さ……ん……ジ……ョ……ウ……は……好……き

いいですけどジョウは私の夫でセイバーは愛人ですからね

わかってます……シロウが呼んでます  
凜ぞろぞろ戻りましょう



遠坂久しぶり元気にしてたか？

ええ衛宮くんも元気そうね



シロウすまないジヨニーと遊んでいて遅くなってしまった

かまわないよ今料理が出来たところだ  
…さあみんなで食べようか！

END